

## 平成29年度 第47回 関東中学校ソフトテニス大会要項

1. 目的 関東中学校体育大会は、中学校教育の一環として生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、体力・技能の向上と、スポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な生徒を育成する。また、スポーツの交流を通じて各都県間の親睦を図り、生涯スポーツの基礎づくりに寄与する。
2. 主催 関東中学校体育連盟 山梨県教育委員会 甲府市教育委員会 関東ソフトテニス連盟 山梨県ソフトテニス連盟
3. 主管 山梨県小中学校体育連盟
4. 後援 山梨県公立小中学校長会 公益財団法人山梨県体育協会 公益財団法人甲府市体育協会 山梨日日新聞社 山梨放送
5. 期日 平成29年 8月6日(日)～8日(火) 予備日 8月9日(水)・10日(木)  
開会式 8月6日(日) 個人戦 8月7日(月) 団体戦 8月8日(火)
6. 会場 (1)開会式 小瀬スポーツ公園 武道館  
(2)競技 小瀬スポーツ公園 テニス場(砂入り人工芝16面)  
〒400-0836 甲府市小瀬町840 TEL 055-243-3111
7. 種目 男女個人戦及び団体戦
8. 参加資格 (1) 都県中学校体育連盟の学校に在学し、当該競技要項により関東中学校体育大会への参加資格を得た者とする。ただし、その年度の6月30日までに、都県中学校体育連盟を通じて(公財)日本中学校体育連盟に申し出、承認を得た生徒についてはこの限りでない。  
(2) 夏季大会に限り、同年度の参加は全競技を通じて一人1回とする。  
(3) 参加資格の特例  
① 学校教育法134条(1条校以外)の各種学校に在籍し、各都県中学校体育連盟の予選大会に参加し、関東中学校体育大会に参加資格を得たもの。  
② 参加を希望する各種学校は、以下の条件を具備すること。  
(ア) 関東大会参加を認める条件  
a 関東中学校体育大会の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。  
b 参加を希望する学校にあつては、学齢・修業年限が中学校と一致していること。  
また、連携校との生徒による混成は認めない。  
c 各学校にあつては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、運営が適切であること。  
(イ) 関東大会に参加した場合に守るべき条件  
a 関東中学校体育連盟大会要項及び規則を遵守するとともに、大会の円滑な運営に協力すること。  
b 大会参加にあつては、責任ある教員が引率するとともに、万一事故の発生に備え、傷害保険等に加入するなど万全な事故対策を立てておくこと。  
c 大会に参加する経費は当該校が負担すること。  
(4) 団体戦は同一校の選手をもって構成し、監督(当該校教員)1名、選手8名とする。  
ただし、大会本部が認めればこの限りではない。4名でも出場可とする。  
(5) 個人戦は同一校の選手をもって構成し、監督(当該校教員)1名、選手2名とする。  
(6) 個人戦出場者は、団体戦を兼ねてもよいこととする。  
(7) 別紙出場規定に沿う者とする。
9. 参加料 参加登録選手は、1人一律2,000円とする。参加料は各都県の委員長に納入する。  
各都県委員長は、委員長会議までに事務局に現金にて納入する。
10. 監督・引率 (1) 参加生徒の監督・引率は、出場校の校長あるいは教員とする。  
(2) 監督・引率者の特例  
関東中学校体育大会の個人種目への生徒参加について、日常指導している顧問が引率できず、校長がやむを得ないと判断した場合に限り、「関東中学校体育大会監督・引率規則」により、校長が引率者として承認した保護者及び外部指導者の引率を認める。ただしその場合は、当該の校長は当該中学校体育連盟と協議し、様式2, 3, 4, 5をもって監督依頼をしなければならない。  
※引率者としての外部指導者は「外部指導者の規定」による。(平成15年4月1日から施行する。)
11. 参加数 (1) 団体戦…各都県男女4チームとする。  
(2) 個人戦…各都県男女8ペアとする。  
ただし、大会主催都県は倍数の出場を認め、その中に開催区市町村は最低男女各2ペアの出場を認める。
12. 競技規則 (1) 現行の(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」と大会要項・大会出場規定による。  
(2) 競技方法  
① 個人戦 …トーナメント方式  
団体戦 …トーナメント方式(3ペアの点取り方式)  
② ゲーム数…7ゲーム  
③ 使用球 …使用球は公認球(白)とする

13. 表彰 (1) 1位に優勝旗を授与する。(持ち回り)  
(2) 2位に準優勝杯(団体戦)、準優勝楯(個人戦)を授与する。(持ち回り)  
(3) 3位までの入賞校及び個人戦入賞ペアには、賞状とメダルを授与する。  
(4) 3位までの団体戦及び個人戦の入賞校に楯を授与する。  
(5) 個人戦5位のペアに賞状を授与する。  
(6) 3位までの団体戦入賞校及び個人戦入賞ペアの監督には賞状を授与する。  
※全国大会出場9位ペア、開催都県出場13位ペアに全国大会出場認定証を授与する。
14. 申込方法 (1) 出場校は参加申込書2部(1部を正式に用意し、もう1部はそのコピー)作成し、各都県中学校ソフトテニス専門部委員長に申し込む。  
(2) 各都県中学校ソフトテニス専門部委員長は、所定用紙に必要事項を記入し、種目別に申し込む。  
Eメールの申し込みは平成29年7月31日(月)必着、所定用紙は8月6日(日)委員長会議で提出する。  
(3) 申込先・問合せ  
大月市立大月東中学校 三井 洋介(みつい ようすけ)  
〒401-0013 山梨県大月市大月二丁目15-11  
TEL 0554-22-2241 FAX 0554-22-2681 E-mail: y-mitsui@kai.ed.jp
15. 日程 (1) 開会式…8月6日(日) 14:00~14:30 受付  
14:50~15:20 監督会議(小瀬スポーツ公園武道館)  
16:00~17:00 開会式(小瀬スポーツ公園武道館)  
(2) 個人戦…8月7日(月) 8:30 個人戦開始  
表彰式:個人戦終了後(5位の表彰は分離表彰)  
(3) 団体戦…8月8日(火) 8:30 団体戦開始  
(4) 閉会式…8月8日(火) 団体戦終了後
16. 宿泊 別紙「宿泊要項」により、7月29日(土)までに下記に申し込む。  
(1) 申込先…東武トップツアーズ株式会社甲府支店  
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-29-3  
TEL 055-222-0381 FAX 055-226-0318  
(2) 宿泊料金…別紙「宿泊要項」参照  
(3) 弁当…別紙「宿泊要項」参照  
(4) 支払方法…別紙「宿泊要項」参照  
(5) 宿泊は必ず大会事務局を通し、大会事務局が用意する宿舎に宿泊すること。
17. 事務局 大月市立大月東中学校 三井 洋介(みつい ようすけ)  
〒401-0013 大月市大月二丁目15-11  
TEL 0554-22-2241 FAX 0554-22-2681 E-mail: y-mitsui@kai.ed.jp
18. 大会本部 (1) 大会期間中の昼間  
小瀬スポーツ公園管理事務所 〒400-0836 甲府市小瀬町840 TEL 055-243-3111  
(2) 前夜及び夜間  
本部宿舎 ホテル慶山 〒406-0031 笛吹市石和町市部822 TEL 055-262-2161
19. その他 (1) 組み合わせは前年度の実績をもとに、団体戦各都県1位の8校、個人戦各都県1位の8組をシードし、団体戦は関東中体連競技部会で抽選、個人戦は開催都県に一任する。  
(2) エントリー後に選手変更がある場合は、各都県中学校ソフトテニス専門部委員長が責任を持って行う。  
ただし、個人戦は1名に限る。(監督会議まで)  
(3) 本大会は、第48回全国中学校ソフトテニス大会の予選を兼ねるものとする。  
関東ブロックからの出場は次の通りとする。  
① 個人戦…男女各12ペア(上位8ペアとベスト16に残った8ペアによる代表決定戦で勝ち残った4ペア)及び関東大会開催都県男女各1ペアの計男女各13ペアとする。  
② 団体戦…男女各上位4校とする。  
(4) 荒天時の場合の対応  
① 荒天日程等変更の判断は、委員長会で協議の上、大会委員長が決定し、連絡する。  
その場合、5:30を目安とする。  
② 7日個人戦が荒天の時は、9日に延期して開催する。  
③ 8日団体戦が荒天の時は、9日に延期して開催する。  
④ 7日個人戦、8日団体戦が両日荒天の場合は、9日個人戦、10日団体戦を行う。  
⑤ 9日に延期になった場合のみ、午後4時以降の試合は、石和中央テニスコートに移動して行う。  
⑥ 競技途中での会場変更は、委員長会で協議の上、大会委員長が決定し、連絡する。  
(5) 大会期間中における参加者の傷害等は、学校教育内活動であるので、「独立行政法人日本スポーツ振興センター法」の適用となる。参加者は保険証を持参することが望ましい。(保険証がない場合は保険医療が受けられない場合があります。)なお、保護者が引率の場合、保護者及び生徒は、任意の傷害保険等に加入する。また、外部指導者についても任意の傷害保険に加入する。ただし、個人種目においても同様のこととする。  
(6) 開会式は武道館が会場となるため、必ず室内用シューズと、下足入れを持参すること。  
(7) 大会に関する連絡は17の大会事務局が行う。問い合わせは各都県委員長を通して行うこと。  
(8) 緊急時の判断は、各委員会・競技部会で協議の上、決定する。  
(9) 大会ホームページ <http://www.kai.ed.jp/st-kanto/>

# 関東中学校ソフトテニス大会出場規定

関東中学校体育連盟ソフトテニス競技委員会

1 服装 競技中および開会式・閉会式・表彰式では次のとおりとする。

(1) 選手

① ユニフォームについては、上は襟付き半袖スポーツシャツ、下は膝より上のパンツ・スカートを着用すること。ただし、服装（用具を含めて）の色は、華美（蛍光色等）にならないようにする。上記の服装から出るアンダーシャツやスパッツの着用は認めない。（ただし、選手の体調その他で特別な配慮が必要な場合は大会本部まで申し出る。）競技中、シャツの裾を外へ出したり、袖をまくることはしない。また、ユニフォームには文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。

② ソックスの長さについては、くるぶしより上で、シューズを履いた状態でどこから見ても履いていることがわかる長さとする。ハイソックスは認めない。

③ テニスシューズを着用する。

④ ハチマキには、正面に特別な文言や記号を後から記入もしくは印刷し、使用してはいけない。ただし、ハチマキの端の部分に「学校名・名前」を記入してもよい。帽子、サンバイザーもこれに準ずる。

⑤ 背中のゼッケンを各校で別の布などで作成し、背中の中央につけること。ただし四隅を止めるものとする。すでにプリントされている文字は隠すように留めつけるものとする。

(ア) ゼッケンは、B5版横（白地）の大きさの布に都県名、学校名、姓を記述する。都県の「都県」の文字は付けないものとする。

(イ) ゼッケンの文字は「漢字」「ひらがな」「カタカナ」を使用し、文字色は「黒」とする。シャツそのものへのプリントは認めない。

(ウ) 都県内で同名の中学校がある場合には、区別をするために中学校名の表記の工夫をしてもよい。

(エ) ゼッケンの文字の位置は《例1》どおりとし、同一校に同姓の選手がいる場合には、どちらかの選手が《例2》のように名前の一部も付け加える。

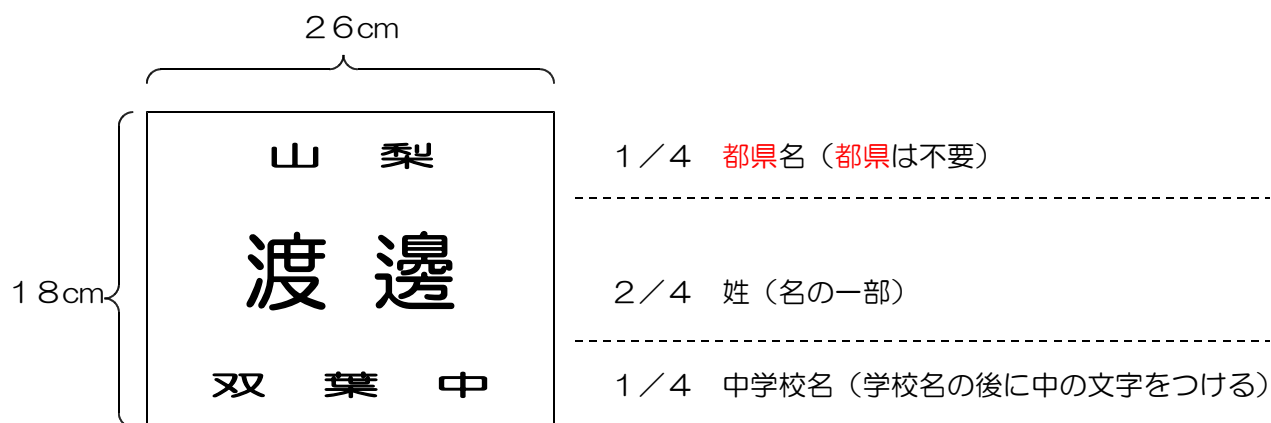
(オ) 中学校名が第一・第二中学校や東・西・南・北中学校のような場合には、学校名をわかりやすくするために、《例2》のように学校所在地を付記してもよい。

(カ) 学校名が「〇〇中学校」の場合は「〇〇中」と表記し、それ以外の「〇〇学園中等部」等の学校については、「中」をつけずに、適当な表記で表現する。

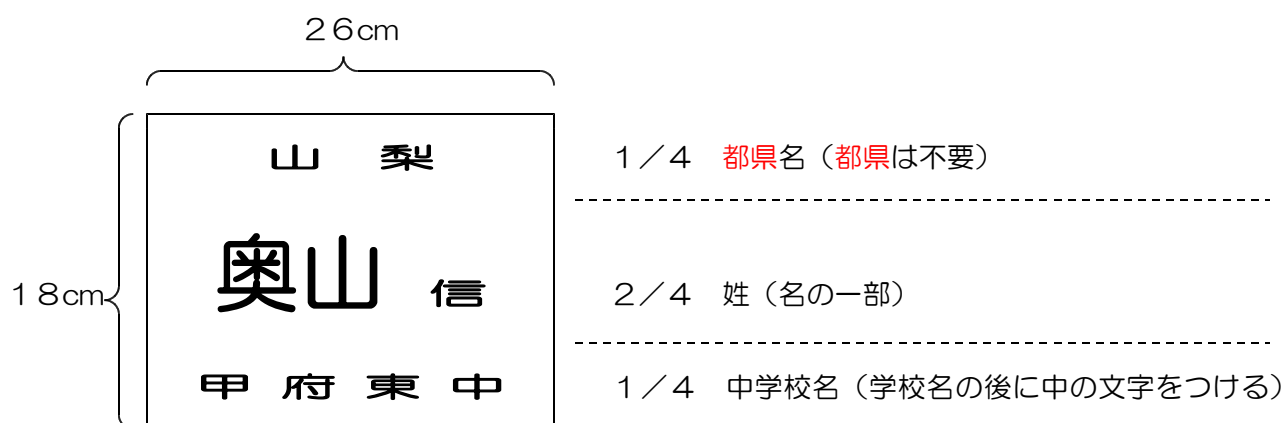
(キ) 下図のように（公財）日本ソフトテニス連盟で示されている三段とする。

【選手のゼッケン】

《例1》 山梨県 甲斐市立双葉中学校 渡邊 亜希彦



《例2》 山梨県 甲府市立東中学校 奥山 信一



⑥ その他

(ア) 所有者を表示する場合を除き、ウェア・用具類への文字や記号の書き込み、印刷、刺繍は禁止する。また、選手の腕等へのペイント、文字の書き込みは禁止する。

(イ) 装飾品を身につけての出場は禁止する。

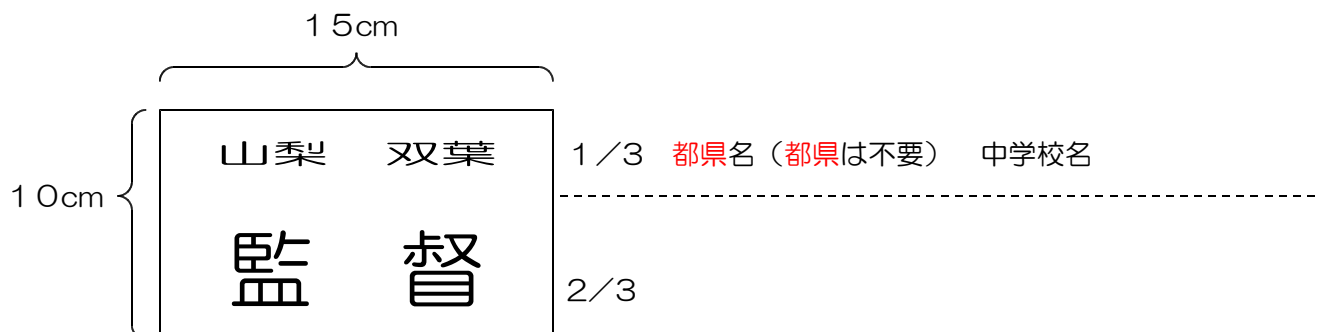
(ウ) 原則として医療具の使用も不可とする。ただし、必要な場合は、所定の様式の文書で大会本部に申し出ること。

(2) 監督・外部指導者（コーチ）

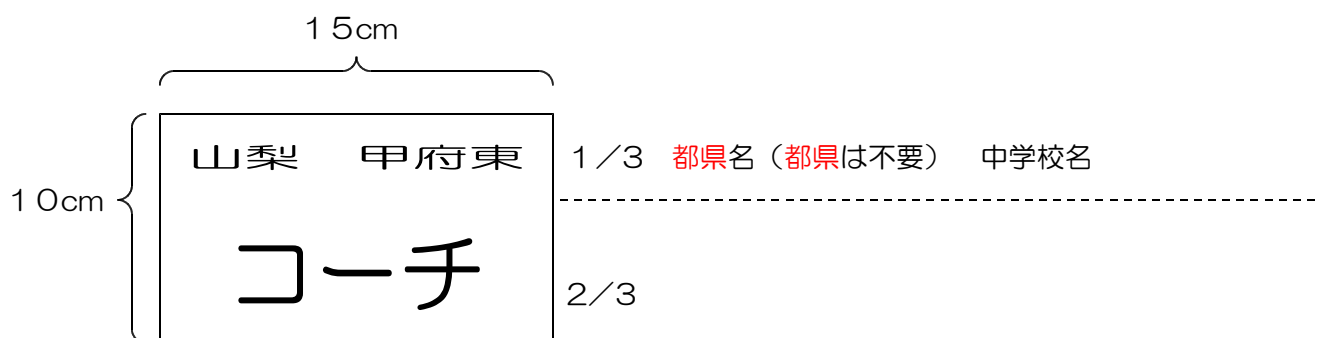
- ① ベンチ入りおよび開会式・閉会式・表彰式のときは、襟付きスポーツシャツを着用する。
- ② テニスシューズを着用する。
- ③ 左胸にゼッケンをつけること。

- (ア) ゼッケンの大きさは縦10cm、横15cmの布製とする。都県名、中学校名、(校名の後に「中」の文字はなくてもよい。)、 「監督」または「コーチ」と記述する。
- (イ) 都県名、中学校名の表記の仕方は、選手に準ずる。「中」はつけなくともよい。また、文字、生地の色は特に指定しない。

【監督のゼッケン】



【外部指導者 (コーチ) のゼッケン】



2 選手変更について

- (1) 個人戦で、1名が病気等が出場不可能となった場合には、「参加選手変更届」を出場校の校長より都県委員長を通して、原則として監督会議が始まるまでに大会本部に届け出る。
- (2) 個人戦で、そのペアの2名ともが出場不可能な場合には、各都県大会の成績に基づいて都県委員長が次のペアを推薦し、大会本部に届け出る。
- (3) 団体戦で、申込後にメンバーを変更する場合には、「参加選手変更届」を出場校の校長より都県委員長を通して大会本部に届け出る。原則として監督会議が始まるまでとし、その後の変更は認めない。

3 大会受付をして、個人戦、団体戦ともに初日の開会式に参加すること。

4 大会期間中の負傷、疾病については応急処置のみを行う。また、本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。なお、大会参加者は健康保険証を持参することが望ましい。

# 外部指導者に関する規定

関東中学校体育連盟ソフトテニス競技委員会

外部指導者に関する規定を次のように定め、外部指導者が監督代行としてベンチ入りすることを認める。

## 1 資格

### (1) 前提条件

外部指導者とは、当該校の校長が、人格・指導面において優れていると認めた者（満20歳以上）であり学校の教育方針に基づき、顧問教員の指導計画に従い、日頃から指導にあたっており、公式試合の遂行ができる者のことをいう。また、事前に校長との間で、外部指導者としての契約が文書でなされていることとする。

### (2) 大会参加条件

- ① 満20歳以上の社会人、大学生（短大・専門学校生を含む）
- ② 複数の学校での指導者、外部指導者としての申請およびベンチ入りはできない。
- ③ 中学校の教員は外部指導者として認めない。
- ④ （公財）日本ソフトテニス連盟公認審判員の2級審判員以上の資格を持っていることが望ましい。

## 2 申請

- (1) 外部指導者を申請しようとする学校の校長は、上記の「1 資格」を満たしているか判定する。
- (2) 当該校の校長は、外部指導確認書（校長承認書）を2部作成し、1部を大会実行委員会に各都県の委員長を経て提出する。もう1部は、外部指導者が大会当日持参し、必要に応じて呈示できるようにする。
- (3) 外部指導確認書（校長承認書）は、全国大会の外部指導者（コーチ）確認書（校長承認書）をもって関東大会に充てることができる。

## 3 活動の制限

- (1) 外部指導者は引率教員の指導の下で行動するものとし、教育的な範囲をこえた選手への指導はしない。
- (2) 大会開催中、外部指導者は監督代行として、大会要項・大会出場規定などに従い、大会運営に協力する。

## 4 費用、安全や傷害に関する保障

外部指導者の旅費など諸費用一切及び外部指導者の安全や傷害に関する保障の一切については、当該校の校長の責任において行うものとする。

## 5 資格の取り消し

本大会の大会会長あるいは競技委員長は、外部指導者に次のようなことがあった場合、当該校の校長に連絡し、資格を取り消す。その場合、ただちに引率教員が監督を行うようにする。

- (1) 資格違反
- (2) 大会要項、大会出場規定などへの規則違反
- (3) 大会運営への非協力
- (4) 不適切な言動など

# 関東中学校体育大会監督・引率細則

関東中学校体育連盟

本規則が適用されるのは、学校事情により、日常指導している顧問が引率できず、校長が止むを得ないと判断した場合に限るもので、安易に保護者及び外部指導者の引率を認めるものではない。

- 1 保護者及び外部指導者の引率を認める個人種目は、次の10種とする。  
(1) 陸上競技 (2) 体操競技 (3) 新体操 (4) 水泳競技 (5) 卓球  
(6) 柔道 (7) 剣道 (8) バドミントン (9) 相撲 (10) ソフトテニス  
※陸上競技・水泳競技のリレーは、個人種目として取り扱わない。但し、陸上競技等における各校選抜のリレーチームについては、その限りではない。
- 2 引率者としての保護者及び外部指導者は監督の資格を認めない。(監督については、当該の校長と当該中学校体育連盟競技部が協議し、監督を引き受けた校長・本人へ文書で依頼する。)  
※手続きは、様式 2, 3, 4, 5 をもって行う。
- 3 生徒は各都県の予選を通過する等、関東大会出場が決定していなければならない。
- 4 引率者としての保護者及び外部指導者は、学校に届出があったものをいう。
- 5 個人種目に該当するソフトテニス等はダブルスであるから、一人の生徒に1名の引率者(保護者及び外部指導者)が付き2名となる。兄弟・姉妹の場合は1名でよい。
- 6 大会に出場するため手続き(大会参加に必要な書類の記入及び提出・生徒への指導)は校長が行う。
- 7 保護者及び外部指導者が引率する場合、大会申込書「引率者氏名・自宅電話」欄に記入する。
- 8 引率者として相応しくないと大会本部が判断した場合、退場を命じ生徒は失格となることもある。
- 9 引率上の留意点・大会会場における留意点
  - (1) 引率等の留意点等
    - ① 引率時は、公の交通機関を利用する。
    - ② 引率上の責任は保護者及び外部指導者にあるので、保護者・生徒等は任意の傷害保険に加入する。加入の手続きは引率者が行い、費用についても自己負担とする。
    - ③ 引率に係る保護者及び外部指導者の費用は、原則として自己負担とする。
    - ④ 生徒の服装・持ち物等については、各学校のきまりに従う。
    - ⑤ 大会の結果と、帰校報告を当日中に行う。
    - ⑥ 宿泊する場合は、学校(大会本部)より指示された宿舎とする。
    - ⑦ その他、引率に必要な事項を指導する。
  - (2) 大会会場における留意点等
    - ① 大会要項を遵守し、責任ある行動をとる。
    - ② 各競技会場の使用上のきまりに従う。
    - ③ 打合せ会等に出席し、大会運営に協力する。
    - ④ ゴミ等は持ち帰りを原則とするが、会場使用規定に従う。
    - ⑤ 競技上の抗議及び問い合わせは、校長が依頼した監督に連絡をとる。

## 競技上の諸注意

- 1 競技は(公財)日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」及び大会要項・大会出場規定に従って行う。マッチは7ゲームとする。天候などの状況により5ゲームとする場合もある。(各都県の委員長会議で決定する。)
- 2 コート割及び進行は別表のとおりとするが、本部の判断で変更をすることがあるので、放送には十分注意する。
- 3 規定のゼッケンを選手は背中に、監督及びコーチは左胸につける。
- 4 選手及び監督(コーチ)は、アンパイヤーの指示に従う。選手はマッチの開始から終了まで連続的にプレーする。
- 5 選手及び監督(コーチ)は、お互いにマナーを尊重し、過度のかけ声または相手を不快にする発声をしない。
- 6 審判のコールの後からポイントが決定するまでの間、発声及び拍手等による応援は禁止する。
- 7 マッチ中のコートにおいて
  - (1) 個人戦は監督またはコーチ1名のベンチ入りを認める。ただし、2ペア以上出場している学校はそれぞれのペアに対し1名の監督またはコーチのベンチ入りを認める。(教員または外部指導者による追加監督の許可を得ている場合) また、追加監督はマッチごとに交代することは認めない。
  - (2) 団体戦は監督またはコーチ1名のベンチ入りを認める。
  - (3) 番号の若い方の選手(チーム)は、中央通路側のベンチとする。
  - (4) マッチ中の助言は、チェンジサイズ及びファイナルゲームに入る前に所定のベンチで行うことができる。ただし、前のゲーム終了から1分以内に次のゲームを開始する態勢に入るものとする。また、身体上の手当についても選手、監督またはコーチともに認める。
- 8 異議の申し立ては、選手、監督またはコーチともにできない。ただし、質問する事を妨げるものではない。
- 9 使用球は、個人戦：アカエムボール、団体戦：ケンコーボールを使用する。
- 10 個人戦について
  - (1) トスは各マッチごとに、コート上で行う。
  - (2) マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意する。第1マッチについては、8時20分までに指定の選手招集所に集合する。それ以降は前のマッチの開始後、指定の選手招集所に集合する。前のマッチの開始後5分経過しても集合しない場合は、集合の通告(放送)を行う。通告後5分経過で警告1回、10分経過で警告2回とする。
  - (3) 監督のベンチ入りは1マッチ1回のみとしてマッチ途中でベンチから出た場合、再びベンチに戻ることは認めない。
  - (4) コートへの入場時に、監督が他のコートにおいて同校のペアがマッチ中のため入場できないときは、マッチ途中からのベンチ入りを認める。
  - (5) 監督はコート内では指定されたベンチに着席し、マッチ中の監督交代は認められない。
  - (6) 選手は監督の助言を受けるために、他のコートに移動してはいけない。
- 11 団体戦について
  - (1) 3ペアの点取り法による対抗戦とし、2回戦以降は2点先取とする。勝敗がついた時点で省略ゲームとする。
  - (2) 1回戦のオーダー提出は、8時00分までに監督がオーダー提出所に提出する。それ以降は対戦相手が決まり次第、速やかにオーダー提出所に提出する。
  - (3) マッチ開始前の呼び出しは原則として行わないので進行には十分注意する。なお、第1試合については8時20分までに各コートに集合する。それ以降はオーダーの提出後、速やかに選手招集所に集合する。集合しない場合は、集合の通告(放送)を行う。通告後5分経過で警告1回、10分経過で警告2回とする。
  - (4) トスは各マッチごとに、コート上で行う。
  - (5) 大会運営上、2面展開等で行うこともある。この時も、監督またはコーチは1名とする。
  - (6) 選手及び監督またはコーチは、コート内では指定されたベンチに着席する。ただし、次の試合の選手がウォーミングアップのためにベンチの横で身体を動かす程度は認めるが、ウォーミングアップに参加する選手は、一斉応援に参加しない。また、器具を持ち込んでのウォーミングアップはしない。
- 12 監督会議後の選手変更は、個人戦エントリーにおいて監督会議後の急病・けがの場合の1名に限り、当日の8時00分までに書面で各都県委員長が競技委員長に提出し、承認を得る。



## 練習日程及び場所並びに競技会場・練習会場の注意事項

※ 練習時間の割り振りは、各都県で話し合ってください。

※ 7:30前のコートでの練習は絶対に行わないでください。(厳守願います!)

8月 6日(日)

小瀬会場(大会会場)

7:30~14:30

|      |    |      |     |       |    |       |    |
|------|----|------|-----|-------|----|-------|----|
| 1コート | 山梨 | 5コート | 埼玉  | 9コート  | 茨城 | 13コート | 栃木 |
| 2コート |    | 6コート |     | 10コート |    | 14コート |    |
| 3コート | 群馬 | 7コート | 神奈川 | 11コート | 東京 | 15コート | 千葉 |
| 4コート |    | 8コート |     | 12コート |    | 16コート |    |

8月 7日(月)

小瀬会場(大会会場)

7:30~8:00

|      |    |      |     |       |    |       |    |
|------|----|------|-----|-------|----|-------|----|
| 1コート | 山梨 | 5コート | 埼玉  | 9コート  | 茨城 | 13コート | 栃木 |
| 2コート |    | 6コート |     | 10コート |    | 14コート |    |
| 3コート | 群馬 | 7コート | 神奈川 | 11コート | 東京 | 15コート | 千葉 |
| 4コート |    | 8コート |     | 12コート |    | 16コート |    |

石和中央テニスコート(練習会場)

9:00~16:00

|      |     |       |    |       |                |
|------|-----|-------|----|-------|----------------|
| 1コート | 山梨  | 7コート  | 茨城 | 2コート  | A...山梨 B...群馬  |
| 3コート | 群馬  | 9コート  | 東京 | 5コート  | A...埼玉 B...神奈川 |
| 4コート | 埼玉  | 10コート | 栃木 | 8コート  | A...茨城 B...東京  |
| 6コート | 神奈川 | 12コート | 千葉 | 11コート | A...栃木 B...千葉  |

※9~12コートは、時間で割り振ります。

A...9:00~10:00, 11:00~12:00, 13:00~14:00, 15:00~15:30

B...10:00~11:00, 12:00~13:00, 14:00~15:00, 15:30~16:00

8月 8日(火)

小瀬会場(大会会場)

7:30~8:00

|      |    |      |     |       |    |       |    |
|------|----|------|-----|-------|----|-------|----|
| 1コート | 山梨 | 5コート | 埼玉  | 9コート  | 茨城 | 13コート | 栃木 |
| 2コート |    | 6コート |     | 10コート |    | 14コート |    |
| 3コート | 群馬 | 7コート | 神奈川 | 11コート | 東京 | 15コート | 千葉 |
| 4コート |    | 8コート |     | 12コート |    | 16コート |    |

### <大会会場・練習会場における注意事項>

- ・コート以外での練習は、絶対にしないでください。
- ・テニスコート管理棟(トイレは除く)への立ち入りは、関係者以外禁止とさせていただきます。競技・運営の支障となりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
- ・ゴミの持ち帰りを各学校でお願いいたしますので、関係者の方に周知徹底をお願いします。
- ・貴重品につきましては、各学校で管理してください。
- ・会場は、マナーを守ってご使用ください。また、禁煙・分煙にご協力をお願いします。